

わかすぎ

vol.147 2021.6



公益財団法人
三重子どもわかもの育成財団
三重県立みえこどもの城

〒515-0054
三重県松阪市立野町1291
中部台運動公園内
TEL0598-23-7735 FAX0598-23-7792
ホームページ <https://www.mie-cc.or.jp>



財団のシンボルマーク

地域社会の大きな枝葉が、子どもや若者や家族を温かく包み込むように支えるマークとなっています。中心の円の三色はそれぞれ黄色は「子ども」、橙色は「若者」、青色は「家族」を表しており、地域社会とともに育成支援をしていこうという当財団の思いを表しています。

第42回
少年の主張
三重県大会

今年も感動的な大会となりました！

中学生のメッセージ2020

令和2年8月29日(土) 伊賀市文化会館 さまざまホール



検温



受付

実行委員による運営

本年度の中学生のメッセージは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常とは異なり残念ながら一般聴衆を入れない形で開催しました。

応募者数としては、県内71の中学校から9,744点にのぼる多くの作文の中から最終審査に残った13名の発表を行いました。

各中学校や青少年育成市町民会議の皆さんの大きな力に支えられ、感動的な大会となりました。発表者の皆さんは発表することで自分自身を見つめ直すきっかけとなり、自信を深め、今後につながる機会になったことでしょう。

来年度は、松阪地区(多気町)で開催します。

中学生のメッセージ2020 受賞者一覧

受賞
おめでとう!

最優秀賞

輝ける舞台まで

まつもと みく
松本 未空 さん 鈴鹿市立平田中学校 3年

優秀賞

同調圧力による生きづらさをなくすために

つじ あやか
辻 彩佳 さん 鈴鹿市立白子中学校 3年

全ては言葉から始まる

なかの おいり
中野 愛里 さん 桑名市立正和中学校 3年

インクルーシブな社会へ

ひらた あかり
平田 灯梨 さん セントヨゼフ女子学園中学校 3年



あいさつからつながる地域の輪

いちかわ あかり
市川 明香里 さん 多気町松阪市学校組合立多気中学校 1年

一人ひとりの行動で

くぼた りか
窪田 りか さん 名張市立名張中学校 2年

私の将来

こいで ほのか
小出 帆華 さん 三重大学教育学部附属中学校 3年

「協力し合う」大切さ

さかもと しゅうご
坂本 脩悟 さん 名張市立桔梗が丘中学校 1年

心のバリアー障がい者は特別じゃない

しばた はるき
柴田 晴希 さん 津市立南が丘中学校 2年

地域とつながるあいさつ

つじ まい
辻 舞衣 さん 鈴鹿市立白子中学校 1年

ごみのポイ捨てから考えたこと

はやし あむ
林 あむ さん 伊賀市立上野南中学校 2年

知ってほしい、理解してほしい

やまもと ゆずは
山本 柚鈴葉 さん 松阪市立飯南中学校 3年

守ろう我が星

よしだ なつき
吉田 菜月 さん 四日市市立港中学校 3年

ご協力いただいた企業・団体様 (※五十音順、敬称略)

株式会社アーステックTAGAWA/伊賀上野ライオンズクラブ/社会福祉法人伊賀市社会事業協会/伊賀森林組合/伊賀ふるさと農業協同組合
イセツ株式会社/エコロプラス/有限会社岡井博進堂/岡二証券株式会社松阪支店/株式会社ぎゅーとら/桑名三重信用金庫/グッディ
コスモスベリーズ松阪店/JAバンク三重/株式会社せにや/総合保険の有限会社丸山/株式会社第三銀行/株式会社司/東邦液化ガス株式会社松阪営業所
有限会社トータルインテリアタグチ/野村證券株式会社津支店/パイロットインキ株式会社/株式会社百五銀行/有限会社プラスサポート
株式会社松阪電子計算センター/有限会社松本水道/公益社団法人三重県医師会/公益社団法人三重県歯科医師会/特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会
一般社団法人三重県薬剤師会/三重交通株式会社/三重コニックス株式会社/メナード青山リゾート/有限会社山室石油/理想科学工業株式会社



受賞者のコメント

最優秀賞に選ばれて
とてもうれしかったです。発表の際は声
の出し方や表情を意識しました。



最優秀賞の松本さんの作文は、財団ホームページ
(<https://www.mie-cc.or.jp/ikuseihp>)に掲載しています。

デザイン画

デザイン画最優秀賞 名張市立北中学校1年 福永 あかる さん

デザイン画協力中学校 伊賀市立崇広中学校、名張市立名張中学校、名張市立赤目中学校
名張市立桔梗が丘中学校、名張市立北中学校、名張市立南中学校

審査委員

※敬称略、順不同

審査委員長 国立大学法人三重大学 学長 駒田 美弘

審査委員代表 公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 副理事長 水元 正

審査委員 三重テレビ放送株式会社 常務取締役 間野 丈夫、伊賀市教育委員会 教育長 谷口 修一
名張市教育委員会 教育長 西山 嘉一、三重県小中学校長会 幹事（名張市立赤目中学校 校長） 篠木 素道
三重県PTA連合会 理事 北川 友和、三重県私学協会（三重中学校 国語科教諭） 大井 邦子
三重県教職員組合 中央執行副委員長 小林 美奈子、三重県子ども・福祉部長 大橋 範秀



伊賀市長からのビデオメッセージ



デザイン画入賞作品展



審査会の様子

令和元年度・令和2年度 公益財団法人三重こどもわかもの育成財団表彰

受賞者紹介（順不同・敬称略）

※令和元年度の受賞者は「わかさぎvol.146」
で紹介しました。

子ども若者の育成支援にご尽力いただいた方々を表彰しています。令和
元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために表彰式が延期となっ
たため、本年度は令和元年度と令和2年度の受賞者の表彰を行いました。
受賞者の皆さま、おめでとうございます。



個人の部（青少年）

津市 やまだ かつら
山田 桂

長年、三重県スポーツ少年団リーダーに係わっている。リーダーの中でも経験豊富で、様々な行事に参加した。
東海4県のリーダー会、全国リーダー連絡会への参加、発表など業績を残した。ドイツ交流にも参加し、自身の見
聞や価値観を広げた。現在は看護師として働きながらリーダー会活動に参加している。この活動が好きで参加し、
元気に帰っていく姿はリーダーにとって憧れの存在となっている。

個人の部（青少年指導者）

伊勢市 もり ひろかず
森 浩一

青少年の見守りから指導など、ふれあいや声かけ活動を重視し、多岐に渡る長年の活動により地域の信頼も厚
く、青少年健全育成活動においても功績が大きい。また、昭和46年から伊勢市、鳥羽市の狂言・能楽分野で講師と
して、青少年に対して指導、伝承等の活動を行っている。

伊賀市 や お こうすけ
八尾 光祐

昭和46年から上野児童福祉社会連合会の理事や育成指導員として30年以上活動してきた。また、伊賀市青少年育
成市民連絡会会長および上野地区総ぐるみ運動推進会議議長として青少年の健全育成に尽力し、現在もそれぞれの
会の運営に携わっている。さらに上野西部地区住民協議会の会長等様々な団体の委員を務め、子どもたちの見守
りや育成に取り組まれた活動は他の模範となっている。

団体の部

伊賀市 うえ の しょうが いがくしゅう
**上野生涯学習
すいしんかい ぎ
推進会議**

1994（平成6）年の設立から毎年途切れることなく、市内の小学生親子を対象に様々な体験学習（自然観察・水
生生物調査・木工教室等）を実施している。多年に亘る積極的な活動と工夫を凝らした内容により、年間参加者数
は1,000人を超え、子どもたちの健全育成を図るとともに、広く人づくり・地域づくりに貢献している。

活動紹介

県内の各青少年育成市町民会議では、青少年の健全育成を目的とし、様々な活動をしています。今回は4つの市町をご紹介します。

桑員支部

いなべ市青少年育成市民会議

いなべ市は旧4町が合併していなべ市となりました。旧町それぞれの活動を1本化していく過程は簡単なものではありませんでしたが、本部署員の選出、会計の一本化を図り話し合いで、支部事業として残すものと支部活動の意義のあるものを本部活動として全市の取り組みとし、各種団体との連携、推進指導員の情報交換などの活動を進めてきました。

ここでは2つの本部事業を紹介します。

一つは「ふれあう心のメッセージ」です。友達、家族、地域の人といったテーマを決め、感謝や心が温かく優しくなる気持ちをメッセージにしてもらっています。いなべ市11小学校、4中学校にお願いをし、毎年ほぼ全員である3,000以上の応募を頂き20点ほどを入選として表彰しています。

もう一つは「クリーン作戦とマスつかみ」です。河川敷のゴミ拾いをした後、鱒つかみをし、それを塩焼きにして食するという事業です。自分たちの街や川をきれいにし、その後、「命を頂く」ことの感謝の気持ちを持ってもらいたいとの思いがあります。

令和2年度は320名と言った多くの方の参加希望がありました。この先もより一層青少年の健全育成活動に努めたいと思います。



三泗支部

『菰野町青少年育成町民会議』

菰野町青少年育成町民会議は、昭和60年度に青少年の健全育成をめざして組織化されました。構成員はそれぞれ青少年育成、非行防止、家庭教育の部会に所属し、各地区で地域の子どもたちのために活動を行っています。

主な事業として、啓発運動の推進、健康で明るい家庭づくりの推進、健全育成や非行防止及び環境浄化活動の推進、社会参加活動の推進をしています。

各地区で開催されるふれあいまつりでは、子ども会と協力し、地域の人みなさんとともに啓発活動を行っています。また、親子向けイベントを企画し、たこあげ大会や映画鑑賞会などを開催しています。たこあげ大会は例年開催されているイベントで、親子で日本の伝統文化を一緒に体験できる機会として、たくさんの方に親しまれています。

そのほかにも、菰野町の少年補導員の方々の協力のもと月1回補導活動を行ったり、子どもたちの通学路付近を中心とした家庭に「こどもをまもるいえ」として協力依頼を推進したりと安全なまちづくりをめざしています。

今後も青少年の健全育成のため、時代や環境の変化に対応しながら活動していきたいと考えています。

鈴亀支部

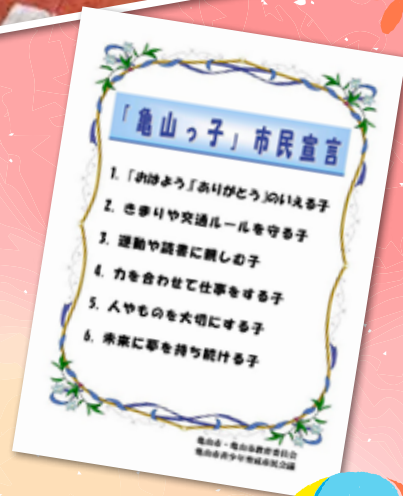
亀山市青少年育成市民会議

亀山市青少年育成市民会議では、理想の子どもたちを育むために大人はどのような環境を作ればいいのかを考える行動指針として『「亀山っ子」市民宣言』を策定しています。今回は、本市民宣言の具現化事業の一つとして、例年8月下旬に実施している「サマーキャンプ」についてご紹介します。

「サマーキャンプ」とは、市内小学生・中学生・高校生で構成される班を中心とした異年齢交流の中で、子どもたち同士の成長を促すとともに、青年リーダーの育成を目的としている3泊4日の生活及び自然体験事業です。

期間中は「昔懐かしいドラム缶風呂体験」「県内の伝統工芸である伊勢型紙体験」など、好評で毎年行っている講座もあれば、平成29年度から参加している大学生実行委員がゼロから企画する講座もあり、食事の自炊を含め盛りだくさんな内容になっています。

子どもたちにとって、近代化された世の中から離れて過ごす「サマーキャンプ」ならではの大変さやわずらわしさを体験することで、普段の生活のありがたみを今一度考える機会となれば、それも一つの成果と捉えています。



松阪支部

明和町青少年育成町民の会

明和町青少年育成町民の会での例年の活動内容は、大淀校区・上御糸校区・下御糸校区・斎宮校区・明星校区・修正校区の6校区での活動を行っています。大淀校区では「サマーカーニバル」・上御糸校区では「ふれあい祭り」・下御糸校区では「みいとフェスタ」・斎宮校区では「夕涼み七夕まつり」・明星校区では「さとやま探検とミニ門松作り」・修正校区では「ふれあいの集い」など、育成会、小学校、PTA、自治会、老人会、各地域の協力もあり、年度の大イベントとして子ども大人問わず地域ぐるみでの祭典活動になっています。

昨年度同様今年度も、青少年育成会の活動は、新型コロナウイルスにより非常に難しい状況です。その中でも活動内容の見直し、及び感染予防対策を徹底するなどの工夫により、感染リスクは低くなると考えられます。感染予防対策を徹底し、子どもたちが安心、安全に楽しめる活気あふれるような創意工夫をした育成活動を今年度はめざしたいと思っています。





三重県子ども虐待
防止啓発事業

オレンジリボンキャンペーン 今こそ心をつなげよう!

令和2年11月1日(日)～29日(日)

参加人数1,450名／協賛企業・団体10件／協力企業・団体50件／学生ボランティア9名

11月の子ども虐待防止月間に三重県と共に行う「オレンジリボンキャンペーン」。8回目を迎えた今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、例年行っているイベント形式での開催は中止し、子ども虐待防止月間の期間、館内および館外を使って密を避けた企画を展開しました。

また、今年度は中止となった「キッズおしごと広場」に協力いただいている企業・団体からも協賛品、協賛金、メッセージカードを通じて協力をいただきました。



啓発ポスター

オリジナルの啓発ポスターは、協賛・協力企業団体や県内の児童館、図書館、公共施設などに配布しました。

オレンジウォークラリー

期間中の土・日・祝日に実施。家族で協力しながら問題を解く微笑ましい姿が多くみられました。協賛企業・団体様から参加賞として素敵な協賛品をご提供いただきました。



オレンジメッセージ

「未来につなぐ自分へのメッセージ・子どもたちへのメッセージ」をテーマに募集。思いのこもった素敵なメッセージが898枚集まりました。



パネル展示コーナー

三重県内の児童虐待に関する情報や子どもを守る組織や団体の紹介、啓発パンフレット等を設置しました。



参加企業・団体 ※50音順・敬称略

主催：三重県、公益財団法人三重こどもわかもの育成財団

協賛：宇野重工株式会社、有限会社深緑茶房、株式会社第三銀行、社会福祉法人長寿会なでしこ苑、日本土木工業株式会社、株式会社ボンタイム、万協製薬株式会社、公益社団法人三重県歯科医師会、三重県歯科衛生士会松阪支部、一般社団法人三重県助産師会

協力：岡三証券株式会社、有限会社ケアステーション たきび、株式会社ジェントリー、一般財団法人食品分析開発センターSUNATEC、社会福祉法人清泉福祉会清泉愛育園、特定施設入居者生活介護虹の夢 津、日本写真判定株式会社、はぐくみ隊、FITNESSCLUB AMIY、松阪飯南森林組合+三重県森林・林業経営課、松阪警察署、松阪地区広域消防組合松阪中消防署、社会福祉法人まつさか福祉会お菓子工房M、県内各青少年育成市町民会議、県内各小学校、県内各児童館

学生ボランティア：ユマニテック短期大学



わくわく! こどもの城商店街

令和3年3月20日(土・祝)～5月16日(日)

協力 『有限会社 深緑茶房』『株式会社 柳屋奉善』『下津醤油 株式会社』

春、イベントホールに出来上がったのは6店舗が軒を連ねる商店街!

八百屋さん、お肉屋さん、お寿司屋さん、ケーキ屋さん、お花屋さん、カフェ!

どのお店も遊び方は決まっていません。店員さんをするもよし!お客さんをするもよし!

商品の金額も自由に決めてOK!

「いらっしゃいませー!」「これください!」と元気な声がイベントホール中に飛びかっていた。最後に引ける、商店街ならではの福引も大人気☆リピーターも多く、たくさんの子どもの参加がありました。

4月4日(日) お茶屋さんの体験



『有限会社 深緑茶房』

お茶の焙煎と茶詰め

4月11日(日) お菓子屋さんの体験



『株式会社 柳屋奉善』

ミニどら焼きづくり

4月18日(日) お醤油屋さんの体験



『下津醤油 株式会社』

お醤油のボトル詰めとラベル作り



「やってみよう! おしごと体験」

特別イベント

イベントホール『わくわく!こどもの城商店街』と連動して【特別イベント】『やってみよう!おしごと体験』を3日間行いました!



作って楽しい ものづくり教室

令和2年9月27日(日)、12月26日(土)、令和3年1月9日(土)

協力 三重県立四日市工業高等学校 ものづくり創造専攻科

ものづくりの楽しさを子どもたちに伝えたいという学生さんの想いから、新しい事業として3回実施しました。

企画から運営まで全て学生さんが分担して行い、「電子オルゴール」「電子ルーレット」「輪ゴム銃」のコーナーでそれぞれ製作指導を行いました。

参加した子どもたちは、真剣に製作に取り組み、作品が完成した時には嬉しそうな表情を見せていました。



クリスマスエコツリー点灯式

令和2年11月29日(日)

このイベントは、環境問題や、近年注目されているSDGs*のを知ってほしい!という思いから、SDGs CHALLENGE MIEさんとの共催で実施しました。

当日は、使用済みのペットボトルを使ったクリスマスツリーの点灯式と、オリジナルSDGs キーホルダーのワークショップを開催しました。

ツリーに使ったペットボトルの数は、なんと200個!約3メートル10段建ての大きなツリーは、財団職員とSDGs CHALLENGE MIEのみなさんで手作りしました。

使用したペットボトルはすべて、今回のイベントに賛同してくださった企業・団体の皆様からいただいたものを利用しました。

点灯式には、たくさんの子どもや保護者の方が参加してくれました!

※SDGsとは…Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)。2015年9月の国連サミットで採択された17のゴールと169のターゲットからなる国際目標。

協力企業・団体 ※敬称略・順不同

SDGs CHALLENGE MIE、株式会社エスト、下津醤油株式会社、ダイドービバレッジサービス株式会社松阪営業所、日本土木工業株式会社、番頭舎、株式会社ヒラマツ、NPO法人三重県生涯スポーツ協会、株式会社三重ふるさと新聞



令和3年1月10日に、入館者500万人を達成しました

コロナ禍の中でも、500万人の達成記念をたくさんの人と共有したい思いがあり、一年の中でもたくさんの人がお越しいただくGWの5日間を使い、記念イベントを行いました。

親子で「おもいで缶」づくり。みえこどもの城で記念写真を一枚。また、「〇年後の〇〇へ」ということで、メッセージを残したい人に手紙を書いて、家に帰ってからさらに思い出の品を詰めて、ふたを開めます。缶の表面に「開封して欲しい日」や「缶を開けてほしい人」を書いて、世界に一つだけの「おもいで缶」の完成です。

平成元年に開館し、入館当初、小学生だった子どもも、今は子どもを連れて親子で来館。また、当時、子育て世代で子どもを連れて来てくれた人は、今は孫を連れて来館。世代のつながりを感じた5日間でした。入館者600万人を目指して、いつ来てもみえこどもの城は楽しいと思っていただけるよう、楽しいイベントを企画していきます!!



おもいで缶

ペーパーアート倶楽部

令和2年9月21日(月・祝)、10月24日(土)、
令和3年1月11日(月・祝)、2月11日(木・祝)

協力 ペーパーアート倶楽部(みえこどもの城ボランティアグループ)

ハートの
チョコレートボックス

指先を使って平面の紙からいろいろな立体やアート作品を作り、子どもの創造性を育むことを目的として作られたペーパーアート倶楽部。今年度は4回実施しました。

作品のデザインや設計、当日の制作指導まで、みえこどもの城ペーパーアート倶楽部メンバーのボランティアさんが行いました。

子どもには少し難しい制作過程もありましたが、親子で一生懸命作品を作り、出来上がった時にはとても嬉しそうにしていました。

飛び出す雪だるまカード



みえこどもの城が「第7回全国KAPLA®大会」で施設賞大賞をいただきました

全国 KAPLA 大会は全国の美術館・科学館・児童館が参加し毎年、夏に実施されています。コロナ禍の中にあり、中止も検討されましたが、休校、休園で遊ぶ機会が減っていた子どものためにできることをしようと全国 46 館、作品応募総数 704 点が集まりました。

みえこどもの城もカプラやマットの消毒に努め、また初めて独自イベントを企画したり、学生の作品づくりの機会を設けたりして盛り上げました。その結果、審査員選考の受賞作品が最も多く、作品の質が高い施設として施設賞大賞をいただきました。

これからも KAPLA の楽しさをカプラルームや移動児童館で県内の多くのこどもに伝えていきたいと思います。



優秀賞

「かぶらえき」



入賞

「リレーをがんばるぞ!!」



入賞

「未来のみえこどもの城」



入賞

「カプラハイスクール」



特別賞

「海のはじまり」



オーディエンス賞

「シンカリオンE7かがやき」



みえこどもの城の第4期指定管理者として指定されました

第4期指定管理事業（令和3年度～令和7年度）では、「私たちのめざすこどもの城」の基本目標を掲げています。

基本目標（私たちのめざすこどもの城）

- より多くの子どもに笑顔とわくわく感を届け、家族を元気にします。
- さまざまな人々との協働により子どもや子育て家庭を応援します。
- 子どもが豊かに育つことのできる地域づくりのため、地域から必要とされるネットワークの拠点になります。



第4期指定管理の新規事業として、

①こどもの主体性をはぐくむ事業

子どもが自由に意見をだしあい、イベントの運営に参画し、その意見を反映させることで、子どもの主体性を育みます。

具体的事業の一例 和太鼓講座（5回講座＋発表会）

本格的な和太鼓に挑戦！ 5回講座のあとは、発表会の内容を企画し、子どもが考えたやり方で発表します。どんなステージにするのかを決めるのは子どもです！！



②わかもの社会参画応援事業

若者が自由に意見を言える機会を提供するとともに、若者の意見を取り入れた事業にも取り組みます。また、学生ボランティアを育成し、活動できる機会を提供します。県内企業の地域貢献活動に関する調査結果を受けて、企業が若者を支援できる機会をコーディネートします。

具体的事業の一例 【シリーズ講座】子どもプログラミング

地域の企業が事前に学生ボランティア（中学生から大学生）にプログラミング講座をし、その事前講座を受けた学生が子どもプログラミング講座で企業のサポートをします。



③地域協創ネットワーク事業（移動児童館）

地域のさまざまな主体と協働し、地域に出向き事業を展開することで、地域で子どもを見守るネットワークが形成され、それが各地に広がっていくよう、地域の子育て環境づくりを支援します。

具体的事業 新しい生活様式に配慮し、移動児童館メニューの充実

- ①工作（写真①） ②カプラ遊び（写真②） ③運動遊び（写真③）

新 ④プロ講師による出前事業（写真④）

新 ⑤みえこどもの城ボランティアグループによる紙工作講座（写真⑤）



コロナ禍でこどもの城に来館が難しい子どものため、みえこどもの城での体験と同等の体験が実施できるよう、地域のさまざまな主体と協働し、地域に工作や遊びを届けます。

令和2年度の移動児童館の実績 / 参加者数 36,917人

（内訳）放課後子どもクラブ関係 57回 県内児童館関係 23回 子育て支援事業 7回 （その他カプラ貸出 70回）



みえこどもの城 「こどもモニター2020」を実施しました

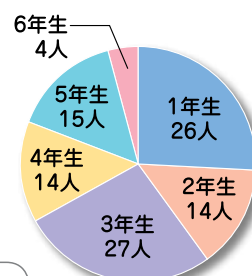
対 象 小学生

実施期間 令和2年12月24日～令和3年3月7日

みえこどもの城では、子どもの思いや生活をつかみ運営に活かすため、毎年「こどもモニター」をおこなっています。令和2年度は「子どもと新型コロナウイルス感染症」をテーマに、小学生100人を対象にアンケート形式で実施しました。

コロナ禍での生活や新型コロナウイルス感染症についての知識、そしてみえこどもの城に期待する体験企画や遊びなどを調査しました。その結果の一部をご紹介します。

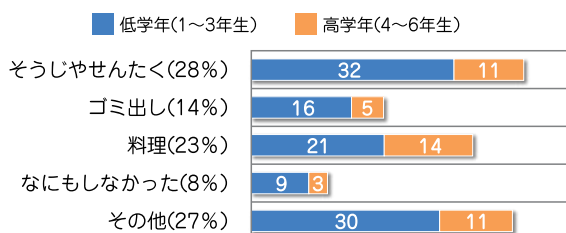
あなたの学年は？



低学年が全体の約7割

学校が休校だったとき、自分でしたことやできたことはなに？

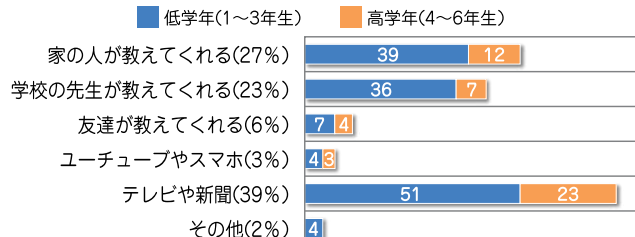
(複数回答あり)



低学年では「そうじやせんたく」、高学年では「料理」を頑張った子どもが多い

新型コロナウイルス感染症のことはどうやって知りますか？

(複数回答あり)



「テレビや新聞」から情報を得ている子が低学年・高学年ともに多いという結果に

今回のアンケート結果で、学校休校中に自分のできることを頑張った子、そしてコロナウイルスについて理解している・理解しようとしている子が多いことがわかりました。また、コロナ禍ということもあり、体を動かしたり、体験型のイベントをみえこどもの城に望んでいる子が多くいました。

コロナウイルスと向き合い頑張っている子どものためにも、コロナ対策をしっかり行いつつ、子どもが楽しめるイベントを充実させていきます。

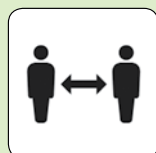
☆ みえこどもの城 人気イベントランキング ☆

- 1位 おやつ攻城
- 2位 なりきりイベント
(忍者体験、宝探し、など)
- 3位 キッズおしごと広場

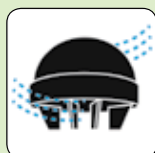


みえこどもの城の新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

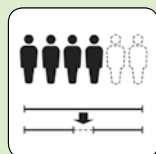
みえこどもの城では、県民の皆様へ安全・安心に施設をご利用いただけるよう以下のとおり感染防止対策を実施しています。



人との距離の確保



施設内の十分な換気



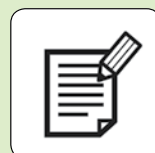
定員の削減と運営スケジュールの変更



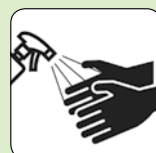
施設・遊具の定期的な清掃・消毒

- ウォータークーラーおよび、トイレのジェットタオルの使用を中止しています。
- 絵本コーナーに書籍除菌器を設置しています。
- 工作時に使用する道具類は、紫外線殺菌機や消毒液を使用し、消毒しています。
- 飛散拡散防止のため、ビニールカーテンやパーテーション等を設置しています。
- 食事場所は、屋内での飲食スペースを制限するとともに、屋外の飲食スペースを拡充しています。
- スタッフもマスク着用と検温を行っています。

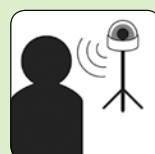
また、ご来館いただいた皆様にも以下の取り組みにご協力をお願いしています。



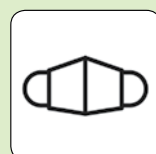
連絡先の記入



手指の消毒



サーマルカメラによる検温



マスクの着用

このほかにも随時必要な対策を行います。

令和2年度のみえこどもの城の改善活動について

みえこどもの城では、新型コロナウイルス感染防止の観点や皆様からいただいたご意見を参考に、様々な改善活動に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染防止対策(三重県施行分を含む)

1 抗ウイルス・消毒対策として以下の設備を導入しました



遊具・マット等への
抗ウイルス剤の塗布
(プレイランド他)



紫外線殺菌機の設置
(絵本コーナー他)

2 機器設備の一部を非接触式に改修しました



トイレの手洗い場に
自動水栓を設置



ショッピングに
自動精算機および
キャッシュレス決済を導入



各階トイレの照明を
人感センサーを設置し
自動点灯化

3 ソーシャルディスタンスの確保のために以下の設備を導入しました



サーマルカメラの設置



デジタルサイネージの設置



休憩コーナーに
パーテーションを設置



受付に
パーテーションを設置



券売機の一部をタッチパネル式
(キャッシュレス機能あり)に
変更しました

4 施設内の換気空調等の設備を修理および改修しました



施設の排煙装置を
一部電動化



屋外ログハウスの
エアコンを取り換え

その他

(お客様からの声)

5 多目的トイレに手すりを設置しました



(その他 施設の保全管理・充実)

6 施設の維持管理のため修繕および改修を行いました



屋外ログハウスの
ウッドデッキ修繕



新しい映像体験遊具の
設置

改修工事のためドームシアターは9月からお休みします

みえこどもの城のドームシアターは、新型コロナウイルス感染防止対策として皆様に、より安心してご利用いただくための座席および内装の改修工事を行います。そのため、令和3年9月1日から翌年2月末日までの期間、映画・プラネタリウムの上映を休止します。

なお、ドームシアター以外のコーナーは9月以降も通常通り運営します。





令和2年度

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団決算報告書

貸借対照表

令和3年 3月31日現在

(単位:千円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	43,946
2. 固定資産	388,510
(1) 基本財産	290,260
(2) 特定資産	95,768
(3) その他固定資産	2,482
資産合計	432,456
II 負債の部	
1. 流動負債	18,722
2. 固定負債	9,984
負債合計	28,706
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	368,390
(うち基本財産への充当額)	290,260
(うち特定資産への充当額)	78,130
2. 一般正味財産	35,360
(うち特定資産への充当額)	7,653
正味財産合計	403,750
負債及び正味財産合計	432,456



正味財産増減計算書

令和2年 4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	2,983
特定資産運用益	442
受託金	141,418
事業収益	7,646
その他収益	12,420
経常収益計	164,909
(2) 経常費用	
事業費	156,284
児童健全育成事業費	122,169
児童健全育成拠点事業費	12,718
青少年育成事業	13,770
三重県委託事業費	2,135
収益事業費	5,492
法人管理費	14,031
経常費用計	170,315
評価損益等調整前当期経常増減額	-5,406
損益評価等計	0
当期経常増減額	-5,406
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	-5,406
一般正味財産期首残高	40,766
一般正味財産期末残高	35,360
II 指定正味財産増減の部	
一般正味財産への振替額	-9,520
当期指定正味財産増減額	-9,520
指定正味財産期首残高	377,910
指定正味財産期末残高	368,390
III 正味財産期末残高	403,750

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団からのご協力をお願い

皆様からのご寄附により、公益財団法人三重こどもわかもの育成財団の活動が一層充実します。

当財団が実施している次世代の三重県を担う児童・青少年の育成に関する様々な事業は、事業収入及び三重県立みえこども城の指定管理料によって運営しています。個人法人を問わず幅広い皆様からのご支援をいただくことにより、一層の事業の拡大・充実を図ることができます。

是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

寄附金の税の優遇措置

当財団は三重県知事から「公益財団法人」としての認定(平成24年4月1日移行)を受けています。

公益財団法人は税法上の「特定公益増進法人」に該当し、当財団が実施している公益目的事業を支援するために支出された寄附金については、税法上の優遇措置が受けられます。

〈詳しくは、税務署にお尋ねになるか、国税庁のホームページ(<http://www.nta.go.jp/>)でご確認をお願いします。〉

